

公益社団法人私立大学情報教育協会
平成 25 年度第 3 回大学情報システム研究委員会議事概要

I. 日 時：平成 25 年 1 月 21 日(火) 15:00 から 17:00 まで

II. 場 所：アルカディア市ヶ谷（私学会館）7F 白山

III. 参加者：疋田担当理事、岩井委員長、片岡委員、杉山委員、藤本委員、森本アドバイザー、
小川委員（Skype）、
アドバイザー賛助会員：朝日ネット、ニッセイコム、富士通マーケティング
事務局：井端事務局長、森下主幹、野本（記）

IV. 検討事項

1. ポートフォリオのとらえ方について

委員会として、学修ポートフォリオに求められる機能・役割を整理し、情報システムとしての学修ポートフォリオの構築・運用に伴う留意点及び課題について年次計画で研究することになっている。

今年度は、ポートフォリオに対する理解と普及の促進に向けて、ポートフォリオに関する基本的な考え方を学生の視点を中心に提示をすることになっている。

基本的な考え方として、学修者中心と教員・大学からみたポートフォリオが提示された。

- ・ 学修者中心のポートフォリオでは、学びの継続的な蓄積であり、振り返りにより到達度と課題を発見できること。教員から適切なサポートを受けられること。学生は学びを深化させ、主体的に修得し、自律的な学修者になること。
- ・ 教員・大学から見たポートフォリオでは、学びと教育のプロセスを可視化し、学生とともにプロセスを共有すること。学修行動の把握、教育プログラムの評価や IR のための定性的データとしての活用がある。目的により具体的な機能は異なるが、学びと教育の向かうべき方向性を確認でき、「羅針盤」としての役割をはたす。

2. 考え方（とらえ方）について委員の意見

- ・ 組織的に実施しといるところは良いが、個人の授業で実施しているものは埋没しているのではない。ただし、個人の実施以上に組織として取り組むための方策をとりまとめでは提示したい。
- ・ IR は難しいのではいか、わかりにくい感じを受けるため、どのように IR に活用できるのかを提示する必要があるのではない。
- ・ 学生が作成するポートフォリオを中心として、ティーチングポートフォリオは別として考えたい。
- ・ コミュニティ、学び合い、ディスカッションなどアクティブラーニングにつながる協働する学びのツールとしても利用できるのではない。
- ・ 学生の声として入力することが目的化しているとあったが、メリットがわかれば学生の利用が伸びるのではない。学生にとってのメリットを提示する必要がある。
- ・ 現状は、GP で導入したが宝の持ち腐れになっている場合があり、理解が進んでいない。
- ・ キャリアにつながっていくことを入れてはどうか。就職のための自己理解やキャリア形成として、面接の際に学んだ証拠になることの理解の促進を図ってはどうか。
- ・ 到達度をどのように図るのが課題ではないか、サポート体制が重要ではないか。到達度を自己評価できること、客観的評価が必要。教育の効果的なフィードバックの仕方が課題。

- ・ 学生をその気にさせるには、組織的な支援が必要で学生一人ひとりにどのようにフォローアップするかが課題。大学全体、社会の有識者などから学生の不足している部分を補い支援することが大切ではないか。
- ・ 到達度を学生が理解できることにする工夫として、汎用的能力・専門的能力のリストなどの整理が必要ではないか。蓄積するとどのように役立つのか学生に教える必要がある、成果で端的に示すことができれば良いと考えられる。
- ・ とりまとめとしては、具体的なイメージが必要だが、平易な言葉での表現が必須。

3. 機能と役割について委員の意見

- ・ 大学によって、システム・役割は変わってくること。どのような役割にするのか、何に役立つのか、簡潔に整理が必要とされる。
- ・ 学生の全人格の発達について、成長がわかること。学生が向かい合った時にどのような仕組みであるべきなのか。例えばどのようなデータを蓄積していくのかなど。
- ・ 何ができるのか、何をするものなのか、例えばこのようなこともできるなど、詳細な提示をすることも方法ではないか。
- ・ 学修・評価を促進させるツール、学びの証拠としての役割を具体的に提示することで普及につながらないか。
- ・ **Q&A** 集を作成してはどうか、よくある質問などを具体例も含めて提示してはどうか。
- ・ 組織として導入を推奨すること全学で実施すべきものとして検討する。ただし、全ての授業での運用ではなく、重要な部分で始めたり、**CanDo** リスト的な整理をしてはどうか。選択肢を多く用意すれば役立つのではないか。

4. とりまとめに向けての意見

ポートフォリオの基本的な定義（考え方）、どのような機能・役割、よくある質問 **Q&A**、フローチャートの意思決定しやすい仕組みなどの提示を A4 で5枚程度の分量で整理をすすめてはどうかとした。

- ・ ポートフォリオの主たる目的・形態などを多様なパターンで例をあげることにした。
- ・ 考え方（定義）にはメッセージも含める。大学全体でどのように向き合えば良いかのイメージ、全学で合意のため議論する意義・背景、社会の要請、学生を高めていくこと、組織的にツールを活用して学生をサポートすることの提示が必要ではないか。

V. 今後のスケジュール

- ・ ポートフォリオの考え方、役割・機能、**Q&A** について次回検討することにした。
- ・ 次回委員会は、3月3日に開催することにした。